

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
220006	XY3220006	2	前期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	共通	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	共通	選択	3年
情報メディア論	本間 正一郎			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	共通	選択	3年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通	選択	3年		
授業目的							
売国メディア、媚中・媚韓メディア、マスゴミなど既存のマスメディアに対する罵声が巷にあふれている。しかし、そうした罵声を発する多くの者は、実は基本的メディアである新聞すら読んでいない。情報化社会に山積する難問を解決するのはデジタル技術ではない。実は極めてアナログな生きた人間のコミュニケーションだけが問題解決の鍵を握っているという事実にも多くの人は気づいていない。華やかなデジタルの万華鏡に目を奪われることなく、「自分のモノサシ」をもって冷静にすべてを疑ってかかることから、情報の海で溺れない術を身につける。新聞という身近なコミュニケーションツールを中心に私たちを取り巻く諸課題を考察する。大事なことはコミュニケーションのテクニックではなく、コミュニケーションの理解であることを認識したい。							
各回毎の授業内容							
第1回				第9回			
【授】ジャーナリズムとコミュニケーション。直近の内外ニュースと話題から				【授】愛国心とプロパガンダ。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第2回				第10回			
【授】言論の自由はどう死ぬのか。直近の内外ニュースと話題から				【授】市民社会とジャーナリズム。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第3回				第11回			
【授】既存メディアはなぜ攻撃されるか。直近の内外ニュースと話題から				【授】人権とマスメディア。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第4回				第12回			
【授】戦争とメディア。直近の内外ニュースと話題から				【授】1枚は100行に勝る。報道写真の今。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第5回				第13回			
【授】テレポリティクスとメディア。直近の内外ニュースと話題から				【授】通信社とはなにか。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第6回				第14回			
【授】広告、CMは必要悪か。直近の内外ニュースと話題から				【授】匿名社会とメディア。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第7回				第15回			
【授】テレビ、ラジオを考える1。直近の内外ニュースと話題から				【授】情報のプロとは何者か。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
第8回				第16回			
【授】テレビ、ラジオを考える2。直近の内外ニュースと話題から				【授】まとめ。直近の内外ニュースと話題から			
【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する				【前・後】日常的に新聞、テレビのニュースに触れるよう意識する			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							50
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							50
評価は原則として出席ポイントと期末レポートの合計で行う。途中、小課題を課すこともある。							
教科書参考書							
特になし。日々の新聞に目を通すことを期待する。							
受講に当たっての留意事項							
本講座は前期の「情報メディア論」と事実上連続している。本講座ではより広範囲なメディア・コミュニケーション状況を俯瞰し理解することを目指す。各回とも日々のニュースを素材として、メディアの実像を探り視野を広げる。							
学習到達目標							
「狭い視野」「偏った知識」「思い込み」の危険性を理解し、情報を評価する「自分のモノサシ」を身につける。柔軟で寛容な情報対応力を養う。新聞を楽しんで読むことができるようになる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習